



福井県PTA

◆発行者：福井県PTA連合会 会長 木村正俊 広報委員会
 ◆発行所：〒918-8135 福井市下六条町1-4-1 (福井県生活学習館2階) TEL 0776-41-4253 FAX 0776-41-4333
 ◆ホームページ：http://www.fukui-pta.jp (社)日本PTA全国協議会 http://www.nippon-pta.or.jp/
 ◆E-mail：mail@www.fukui-pta.jp

夏の思い出号

2009.7.22 午前11:00
福井県での部分日食



CONTENTS

◆会長のちよつと一言	2
◆第24回日中友好少年少女の翼に参加して	2
◆県Pゆめ基金「アジアの子どもたちからの手紙」	3
◆受賞おめでとう「日P広報紙コンクール」	3
◆第28回福井県PTA連合会子育て研修報告 「心の力」どのように育みますか?	4・5
◆ドクター通信「新型インフルエンザについて」	6・7
◆福井県PTA連合会創立60周年記念大会	8
◆ホームページリニューアル	8
◆第66回東海北陸ブロックPTA研究大会福井大会	8
◆県P掲示板	8
◆編集後記	8

福井県PTA連合会 創立60周年記念大会

日時：平成21年10月17日(土) 13:30～
会場：福井県生活学習館

スローガン 「はぐくもう家庭の教育力 見直そう基本的生活習慣」
 メインテーマ ～話そう! 笑って 抱きしめて～

- 1 記念式典
- 2 記念講演 沢田知可子「人とのきずな・思いやり」
- 3 「福井県PTA連合会10年間の研究の歩み」発表
- 4 「一筆啓上・我が家の三原則」優秀作品入賞者表彰

講演者紹介

沢田 知可子 プロフィール

1987年 「恋人と呼ばせて」でデビュー
 1990年 「会いたい」130万枚売上
 1991年 日本大阪有線放送大賞受賞
 NHK紅白歌合戦出場



2000年 「会いたい」が「21世紀に残したい泣ける名曲」第1位に
 2002年 ゲームソフト「はぐくのなつやすみ2」の挿入歌「少年時代」を歌う
 2003年 社団法人日本青年会議所主催の人間力大賞で「gift」が厚生労働大臣奨励賞を受賞
 2004年 スマトラ沖地震、新潟中越沖地震復興ライブに参加
 以後、各地で復興コンサートを行う
 魂を癒すボイスヒーリングをテーマに「歌セラピーライブ」を展開



ホームページリニューアル

このたび、長年の懸案だった福井県PTA連合会のホームページを、創立60周年記念大会を機に一新することになりました。
 今後、年3回の更新を実施し、タイムリーな情報をお知らせするとともに、リンクも充実していきたいと思っております。
 皆様のご協力のご意見をお寄せいただきたいと思います。

【ホームページアドレス】
<http://www.fukui-pta.jp>

または 検索エンジンで
福井県PTA連合会

検索

第66回東海北陸ブロック PTA研究大会 福井大会

平成22年10月23日(土)・24日(日)

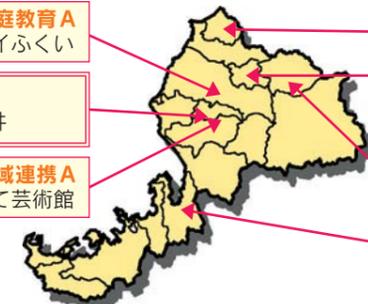
大会のテーマは

『話そう! 笑って 抱きしめて』
 ～ほやの みんなでやろっさ～

第1分科会 家庭教育A
(福井) ユーアイふくい

全体会
サンドーム福井

第6分科会 地域連携A
(丹南) いまだて芸術館



第4分科会 学校支援B
(坂井) 清風荘

第2分科会 家庭教育B
(永平寺) 県立大学交流センター

第3分科会 学校支援A
(奥越) 恐竜博物館

第5分科会 地域連携B
(嶺南) プラザ万象

編集後記

広報紙「福井県PTA」が、本号で99号を迎えました。次号はいよいよ節目の100号です。
 広報紙を編集する傍ら、過去の紙面を読み返し、県Pの活動を改めて理解することができました。今回は、夏の思い出号と名付けました。また、イラストや写真、直筆原稿などをふんだんに挿入し、それぞれの記事が目立つよう工夫しました。原稿をお寄せいただいた方々に深く感謝申し上げます。
 今年度は60年記念に向けてホームページもリニューアルすることとなり、忙しい一年となりそうですが、皆様の協力を得て、乗り切っていこうと思っております。

広報委員長 高津 琴博



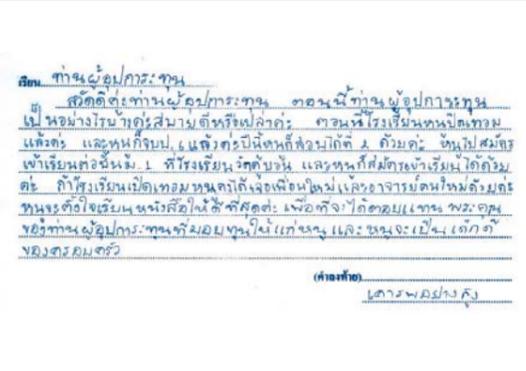
今後の活動案内

- ◆福井県PTA連合会創立60周年記念大会
 (詳しくは上欄をご覧ください)
 日時：平成21年10月17日(土) 13時30分～
 会場：福井県生活学習館
- ◆東海北陸ブロックPTA研究大会 名古屋大会
 日時：平成21年10月23日(金)・24日(土)
 テーマ：「未来へ今できること」 みんなで鳴らそう
 家庭・学校・地域のトライアングル」
 記念講演：木場 弘子氏「のびのび子育てのススメ」
- ◆平成21年度広報紙コンクール作品募集
 募集期間：平成22年3月末日まで
 (今年度から、年2回発行の広報紙も対象となります)

県P掲示板

県Pゆめ基金 アジアの子どもたちからの手紙

毎年皆様方からご協力を頂いている書き損じはがき・未使用のテレホンカードの収益金でアジアの子どもたちに奨学金を送っています。



親愛なる里親様へ

こんにちは里親様。現在里親様はいかがお過ごしですか。お元気ですか。現在学校はお休みで、小学6年生を終了しました。今年の私の成績はクラスで2番でした。私はWat khubo中学校の入学の手続きに行きます。そうすれば私も入学できます。新学期が始まれば、私は新しい友達や先生と出会います。私は私のために奨学金をご援助下さる里親様のご恩返しのためにも一生懸命勉強をがんばりたいと思います。私は家族の良い子になりたいと思います。

尊敬の気持ちを込めて
Wachariphon Siimarat



尊敬する里親様へ

僕はKan Siritert です。里親様から奨学金をもらえる事になり、僕はとてもうれしいです。今年僕は小学2年に進級しました。僕の成績はまあまあでした。学期末のお休みの間、毎日おばさんと一緒に病院にいるお母さんの看病に行っています。なぜなら僕のお母さんは腎臓病で歩けません。僕は一生懸命勉強して良い子になることをお約束します。最後に、里親様と里親様のご家族の皆さんが、ずっと健康に恵まれ幸せでありますようにお祈りします。

尊敬の気持ちを込めて
Kan Siritert

「ちよつと一言」

福井県PTA連合会会長
木村 正俊



皆さんこんにちは、いつもお世話になりありがとうございます。今年、県P連60周年と記念すべき年となりました。昭和21年に米国教育使節団が来日してPTAの必要性を提唱してから63年が経ちました。本県では昭和25年に福井県PTA連合会を設立し活動を開始しました。先輩諸氏が築きあげてきた歴史ある会の節目として、記念事業を開催(10月17日)致します。

また、来年度(平成22年10月23日・24日)は東海北陸ブロックPTA研究大会が福井にて行われます。既に、昨年から準備委員会を発足し、今年の5月には実行委員会と名を改め本格的に活動を開始しました。

大会のテーマは『話そう! 笑って抱きしめて』『ほやのみ』
みんなでやるっさです。コミュニケーションの必要性はもちろんです。笑いは心の栄養剤と言われているのは皆さんご存じですか? 笑いは大切ですよ! それと抱擁です。抱きしめるという行為もそうですが、言葉での抱擁もあります。どの言葉も大切なものばかりです。来年の大会には、是非とも参加していただきますようお願い致します。

最後に、ホームページのリニューアルについて紹介します。今回の60周年・東陸福井大会を期にホームページを一新することになりました。見やすく中身の充実したものになるよう広報委員会総力を挙げて取り組んでいます。もちろん、東陸大会の最新情報も逐次掲載しますので是非ご覧ください。

第24回日中友好少年少女の翼に参加して

中国の文化

丸岡中学校竹田分校 6班 竹田 空善



はじめは、中国ってどんなところなんだろうと思いましたが、とても不安でした。だけれど班のリーダーや、班員の人たちと会って少し安心しました。

中国に入ってから、食事のとき、日本では割りばしが出てくるのに、プラスチックのような少し長めのはしが出てきたのでエコだと思いました。中国のテーブルは、クルクルと回るので、おもしろかったです。中国のお米は、タイ米のように少し長細くて、バサバサしていて、日本のお米のほうが優れているなと思ってうれしかったです。他にも、本場の中華料理が食べられてとてもうれしかったです。

最後の交流会では、現地の中学校の授業に参加させてくれました。僕はそこで驚きました。なぜかという、同じ年の子が、自分よりも上のレベルのことを学んでいたからです。すごいと思いました。僕もがんばりたいです。ホテルでの交流会では、あまり中国の人たちと話せなかったので残念です。それと、せっかくの交流会で知り合いになれた人たちともう会うことがないかと思うと、とても悔しいです。また会いたいです。

日中友好少年少女の翼でお世話になった人たちに感謝したいです。ありがとうございます。

中国の文化と人々

丸岡中学校 4班 宮部 菜津子

私はこの体験を通じてすごく大きく成長できたと思います。

中国に着いた時この国は日本とどう違うのかと思いましたが、その後自分自身の肌で感じる事ができました。まずは食文化です。日本と違いご飯は後の方で出てきたり、味が濃い物や、辛い物などが特に多く出てきたりしていました。市内観光では、私が思っていたよりも建物が多くて高くてびっくりしました。学校や塾なども多くありました。特に驚いたのは万里の長城です。ガイドさんに、日本を往復した長さと同じ長さ聞いてすごいいました。それに思っていたよりも高くて急で、まるで登山をしているかのように感じた。その他にも、天壇公園、天安門広場、人民大会堂などもきれいで大きかったのをすごく憶えています。

中国の交流パーティーでは、話も通じない子といっしょにトランプ等をして楽しむことが出来ました。それに中国の子がこんなに英語が上手だとは思いませんでした。私は、あまり英語が上手ではないのでちゃんと勉強してから行けばよかったと思っていました。

またこのような国際交流をする機会があつたら挑戦してみたいと思います。今回はすごくお世話になりました。



受賞おめでとう! 福井県PTA広報紙コンクール

第31回全国小・中学校PTA広報紙コンクールにおいて、福井市順化小学校広報紙「順化」が『佳作』を受賞されました。

「表紙の写真、どうする?」「まだ決まってるよ!」「時間ないよ、もう印刷屋さんに出さないよ!」「何時までなら間に合う?」

少しでも見ている人に伝わるものを、という思いから、毎号、印刷に回すギリギリまでこのようなりとりが繰り返されてきました。広報委員全員が企画を持ち寄り、取材をし、記事を書き、アンケートをとり、集計し、行事があることにカメラを片手に写真を撮り、4号の広報紙を作りあげました。3号目の特集「給食育」で保護者対象のアンケートを回収した際、用紙にはギツギと意見や質問が書かれており、順化小学校の保護者の意識の高さがかがうことが出来ました。また、皆さんに協力いただいていることを感じ、嬉しく思いました。

今回、全国で佳作をいただき、地域の皆さんから「おめでとう」と、温かい言葉をたくさんいただきました。私たち広報委員としては、関わってくださった皆さんに、こちらから「ありがとう」という感謝の気持ちでいっぱいです。順化地区は、人と人がとても密接につながっている地域です。学校や保護者、そして近所のおじちゃん、おばちゃんと一緒に子どもたちを見まもっています。そんな取り



平成20年度 順化小学校
PTA広報委員長 間 志津江

第28回福井県PTA連合会 子育て研修会報告

「心の力」を育てて育みますか？

8月8日(土)、ハートピア春江において、平成21年度第28回福井県PTA連合会子育て研修会が開催されました。猛暑の土曜午後にもかかわらず、県内各地より、二百余名の方々にご参加いただきました。

今年度は、「心の力」どのように育みますか?と題して、永平寺中学校校長中島文男氏、永平寺吉祥庵主任西田正法氏、心理カウンセラー鈴木み子氏の3人の方々に対談していただき、あつという間の2時間でした。また、会場からの質問も、大変有意義なものでした。

ここに、その論旨をまとめたものを紹介いたします。しかし、大変残念ながら、紙面の都合でほんの一部のみの掲載になりますこと、お詫び申し上げます。なお、事務局にご連絡いただければ、全体の報告をご覧ください。とができて、どうぞ、お問い合わせ下さいませ。



まず、3人の先生方の取り組みと日頃感じていることをお話ししていただきました。



中島 文男氏

中島 子どもたちの様子をお伝えするため、まず、NHKで紹介された「鶴瓶の「家族に乾杯」」をご覧いただきたい。

番組要約(…生徒は下校時、校門より校舎に向かいお辞儀する。鶴瓶が校長に聞くと、「約60年、開校以来らしいですよ」と言う。清掃時間が始まると、廊下に正座し、黙想する。合図の後、無言で黙々と清掃する。「いつもしているから普通だ。だからするより気持ちいい。やっつた後の達成感がある」と生徒の声。…)

放送後全国から反響がすごく、毎日新聞では、「今どきこのような中学校があることは、世の中捨てたものではない。伝統が受け継がれてきたのは、学校だけでなく周囲の力があるに違いない。生きる基本を身につけさせる教育の原点がここにある」と。やらせではないか、教師の一方的な指導ではないかと聞かれることもあるが、押しつけでは続かない。本物だから続けられる。中学

害してはならぬ」と諭された。自分を愛することができこそ、他を愛することができる。現代は、自分を見失っている。家庭こそが、自分を愛し、自分を信じている。このできる場ではなくてはならない。

学の子生徒だったのになぜ今はしないのか?と生徒に質問した。その生徒は親に悔しそうに言った。「今は周りに合わせている。あんなのは掃除じゃない。中学校では皆と安心してできた。快感だった」と。



西田 正法氏

子どもたちは、心の中で「人と比べないで」と叫んでいる。親の期待に応えられない自分は駄目だと感じている。親の勝手な期待ではなく、子どもの可能性に期待し、見守る態度が大事だ。子どもたちは必ず問題や失敗に遭遇する。これを「心の力を伸ばすチャンス」として、見守ることが大切。自分でできる事はやらせてみて、いつも見守っていると安心感を与え、少しでも行動に移した時は認めると、子どもは伸びる。「あなたには力があるよ、あなたの花を咲かせるために生まれてきたんだよ」という気持ちで励ませます。

「愛語」とは、心の底の慈しみから発せられる言葉。相手のために思いつく、正しい方向へ導く。相手のために思いつく言葉である。今、叱れない親が増えている。子どもに嫌われるのがいやで、叱らない。学校の規則だから守りなさい、といえは言いやすい。学校の権威があれば、叱りやすい。本当に子どものことを思っていれば、嫌われても自分の力で叱ることが出来る。

「愛語」は「愛」の反対は「無視」「無関心」というのがある。今の親たちは忙しいと言っていて、子どもの日常の成長を認めるチャンスを見失っているのではないかと。マザーテレサの言葉に、「愛」の反対は「無視」

生にもなる本物であるかどうかについて見極める力がある。

西田 昔、九州の寺で事情のある少年を預かった。持ち物は、下着と洗面具だけでいいですよと伝えてあったが、父親は荷物を沢山持つて連れてきた。持つて帰って下さいと言うと、息子はふてくされた顔に。

坐禅が始まった。真つ暗闇の中、坐禅をしていると、突然奇声をあげ、「お母さん」と叫んだ。恐怖に怯えていた。これまで、周囲からいろいろな刺激を与えられ、自分をごまかしてきたが、坐禅をすることで自分を初めて見つめ、何も無いことに気づかされたのだ。

今の社会は、まさにこういう状態。内面にどれだけ力を蓄えることができるかが、問われている。永平寺中学校の取り組みはとも素晴らしい。黙想とは無言で自分自身を見つめること。

鈴木 カウンセラーが全県の中学校に派遣され、小学校にも派遣される時代になった。今の子どもたちは、いろいろな症状を訴える。カウンセリングに来る子どもたちだけが、生きているのが辛いと訴えるのかと思っていたが、そうではない。



鈴木 るみ子氏

ユニセフの調査では、日本の15歳の子どものうちの29%が「孤独を感じる」と答え、断トツの1位だった。「自分は厄介で場違いな存在である」と答えた子どもも18%に上る。30歳になつたらどんな仕事に就きたいかとの問には、「誰でもできるようなスキルの低い仕事

めて「良い子」のレッテルを貼るようなことをしても、本当のやる気にはつながらない。どうやってその点をとったのかを理解しようとする。そして、努力を認める。

西田氏 今、「認める」という話が出たが、マザーテレサの言葉に、「愛」の反対は「無視」「無関心」というのがある。今の親たちは忙しいと言っていて、子どもの日常の成長を認めるチャンスを見失っているのではないかと。

フロアからの質問

Q:今の若い人は自主性がない。我が子を将来自立させるために、どのようなことに気をつけていってほしいですか?

西田 パソコン一つとっても、決まった通りに動かさないと使えない。そういうものに現代社会はあまりにも慣れている。自由な考えであらしてみよう、こうしてみようということとを家庭の中で子どもたちと話し合ってみることが大事。

鈴木 経験が少なくなっている子どもたちは、出会いの中でどれだけ認めてもらうかが大事。その原点は親に認めてもらうこと。子どもは認めて欲しい。些細なことでも良い、自発性を育むことが第一歩。強制では、自発性は育たない。親から見れば大したことでもなくても、自分からできたことを認める。

中島 中学校でも指示待ちが多い。教員は、できるだけ指示せず、子どもたちの力を引き出す。達成感をもって、やり遂げたと言う経験をさせる。職場体験等を通して、指示待ちでは通用しないことを学んでいる。

事で生活ができればよい」と答えた子どもが50%もいた。日本の子どもがいかに意欲を喪失しているかを示している。

私は、「子どもたちや父親、母親と向き合い、辛いこと、苦しいことを聞きながら過ごしている。「死にたい」、「自分なんかいないほうが良い」という訴えを聞くにつれ、その子どもたちに一番必要なのは、「あなたは大切な存在だ」と伝えることだと感じる。

自分が自分でありたいと思うこと、お互いを尊重し、自分らしく生きることが認め合うことが大事だ。

自分を愛し、相手も愛する

鈴木 ヴァーチェリス・プロジェクトという教育プログラムを紹介したい。ヴァーチェリスとは美德という意味で、心の力である。1. お互いの命、人格を認め合う。2. 言葉を感じ情的に発するのではなく、相手を力づける言葉を使う。3. 辛い時こそ学びに最適な瞬間。逆境こそ、たくさん力を身につける。4. 人として守るべき明確な境界線を引く。5. 心に寄り添うあり方、聴き方を学ぶ。一番身近なお母さん、お父さんが一生懸命聞いてくれることほど子どもにとつてうれしいものはない。人として、してあげられる最高のプレゼント。

思春期を過ぎ、世の中に自分を合わせる時、どこかで自分の気持ちを忘れてしまう。カウンセリングに来る高校生が、どのように生きていけばよいかわからないと訴える。

中島 6時間の授業ごとにも黙想をしている。目的は、メリハリ、集中の瞬間である。「目を瞑っていると、音やにおいを強く感じる」「風や空気を感ずる」と言う。自分の心の変化を3年間で見出している。ある高校の先生が番組を見て、「永平寺中



参加者アンケートから

- ・「ほめる」と「認める」は違う。
- ・自発性を育むことが、心の力の第一歩。
- ・自分を大切にすることは、相手を大切にすることにつながる。
- ・「愛語」は必ずしも耳障りの良い言葉ではない。叱ることの大切さ。
- ・逆境が子どもたちを成長させる。タイミンを逃してはならない。その瞬間に親が寄り添うことが大事。

今後の役に立ちたいと思つたこと

- ・「あなたは力があるよ」「見てよ」「すこいね」と些細な言葉かけを通して子どもの自発性が出てくる。
- ・相手を操作しない。自分のための期待を手放す。
- ・上から目線ではなく、一人の人間として、同じ目線で向き合いたい。
- ・豊かな心を育む教育活動を実践していく中で、子どもたち一人一人に自己有用感、自己肯定感を強く持たせたい。

ドクター通信

新型インフルエンザについて

福井県PTA連合会安全会
審査委員(田中病院院長)

田中 廣昌



新型インフルエンザ

旧盆の八月十五日、新型インフルエンザによる国内初の犠牲者が発生しました。

我が国では五月に初の感染者が確認されて以来、感染者はうなぎのぼりに増加していましたが、亡くなったのは初めてということになります。

今回の新型インフルエンザは毒性が弱く、感染した殆どの方が比較的軽症で数日内に回復していましたが、持病のある方や妊婦、幼児など抵抗力の弱い方が感染すると、重症化する恐れがあり、警戒を強めていたところでした。

亡くなられた方は、慢性腎不全で人工透析を受けておられた方でしたが、その後も犠牲となられた方の報告が続いております。

新型インフルエンザとは

インフルエンザは毎年冬になると、香港A型・B型、ソ連型などと騒がれて予防接種が行われていたのをご存知だと思います。

新型とはこれまで無かった新しいタイプのインフルエンザのことです。したがって、人類が抵抗力(免疫)を持たない全く新しい種類のインフルエンザなのです。確実に効果のある

治療薬やワクチンが無いため、一旦発生すると交通機関の発達している現在、世界中に爆発的に広がり、重い症状を起こす人や死者も多数出ることが予想され、重大な影響が危惧されています。

今年の春頃には、水際作戦と称して航空機のお客さんが問診や消毒を受けたら、足止めをされたりという騒ぎがあったことは記憶に新しいところでは。

鳥インフルエンザ

現在、東南アジアあたりで発生している鳥インフルエンザは新型インフルエンザではありません。鳥インフルエンザは人から人への感染はしないのですが、ごく一部には人から人への感染が確認されており、感染すると重症化します。

新型インフルエンザは、鳥インフルエンザウイルスがトリ・ブタ・ヒトなどの体内で突然変異を起こして発生する可能性が高いと考えられています。

スペイン風邪を知っていますか?

一九一八年(大正七年)当時の新型インフルエンザが大流行し、世界人口の約四十%以上の人が感染、数千万人の死者が出ました。

りません。

家族や周りの人への感染に配慮しながら、自宅で療養すれば良いでしょう。

しかし、リスクの高い方や高熱が三日以上も続いたり、息苦しかったり、下痢や嘔吐など、かなり症状が強い場合には、やはり早期に医療機関を受診すべきです。

かかりつけ医や発熱患者を診察してもらえぬ医療機関を、電話で確認の上、受診しましょう。

熱が下がっても、インフルエンザの感染力は残っているため、感染予防の上からも、熱が下がってから少なくとも二日間は見合わせましょう。

パンデミック

パンデミックの語源は、ギリシャ語で、感染病が世界的規模で同時に流行することで、爆発的感染のことです。

この原稿を書いている間にも、感染者や犠牲者の数字が大きく変わり、政府も本格流行との認識を発表し、ワクチンや特効薬の備蓄に取り組んでいます。

ワクチンの有効率も50%~70%といわれています。ワクチンをしたのにインフルエンザにかかったということも聞きますが、重症化を防ぐこと、感染の拡大を防ぐということでは、大きな意義があります。

いずれにしても、究極の予防法は一人ひとりの自覚と協力を尽きると

×× 新型インフルエンザにかからないために ××

手洗い

マスク着用

十分な睡眠

人ごみを避ける

栄養バランスのとれた食事

最新情報をテレビや新聞で得る

うがい

(この原稿は八月二十二日に受け取りました)

新しい情報(9月17日現在)

世界保健機構(WHO)によると、猛威をふるった南半球の感染拡大は少し落ち着きを取り戻したとのことですが、北半球はこれからが流行期を迎えます。

感染者数 277,000人以上
死者 3,000人以上

日本では、集団発生が相次ぎ、小中学校、高校、保育園、幼稚園での閉鎖が2,158件に達しています。

休校 113件
学年閉鎖 407件
学級閉鎖 1,638件

日本における死亡者も14名に達しました。

日本では三十八万人の死者が出たとされています。軍隊を中心に学校、役所、工場、炭坑、鉄道を襲い全国に蔓延し、医師や看護婦が真っ先に感染、多くの医療機関で診療機能が麻痺してしまい、交通途絶、食料の枯渇などで、ある村では全員が死亡したという記録も残っています。

現在、世界の人口は三倍の六十三億人、輸送手段は蒸気船や鉄道の時代から、ジェット機と車の時代に変わっており、スペイン風邪は弱毒性であったということですが、もし強毒性新型インフルエンザ大流行という事態にでもなったら被害の予測は困難をきわめることでしょう。

本県の感染状況

福井県でも七月四日に小浜市において第一号が発生しました。

十代の女子大学生で小浜の実家へ帰省中に発熱があり、小浜病院で精密検査の結果、新型インフルエンザの感染が確認されたものです。以来、一ヶ月あまりの間に十五名の感染が確認され、その後もどんどん増えていきます。

この数字は精密検査で確認されたものだけですから、検査を受けずに治ってしまったという感染者は、確認された感染者の数倍にのぼるものと推定されます。特に、夏休み中の若い高校生、大学生の感染が多く、休み明けの流行が心配です。

世界や日本の情勢は

日本の裏側、南半球では現在流行

期を迎え、ものすごい勢いで感染者が増え、最近のWHOの発表によると世界で確認された死者数が二千人を超え、感染者数も十五万人を超えたとのことですが、今後二年以内に世界人口の二十~四十%が感染、十億人を超える水準まで拡大する可能性があるとの見方を示しています。

日本は、現在流行の季節ではありませんが、ここまで感染者が拡大するとは想定外であり、冬本番を迎えた時の大流行が心配です。

新型インフルエンザはどのようにしてうつるのでしょうか?

新型といっても特別変わった感染方式をとるわけではなく、毎年流行する季節性インフルエンザと同じで、新型インフルエンザ感染者の咳や痰から排出される新型インフルエンザウイルスを吸い込むことによっておこる飛沫感染とウイルスが付着している物に接触するなどして、そのウイルスが体内に入る接触感染です。

当然のことながら感染のリスクは高くなります。学校や人の集まる所などでの集団感染が心配される所以です。

新型インフルエンザにかからないために

主な感染経路が「飛沫感染」と「接触感染」など、季節性インフルエンザと変わらないので、先ずは手洗いやうがいです。